

北部代表者会議

TO担当より

日頃より、TO活動へのご理解ご協力をありがとうございます。
先日行われた2022年度秋季大会北部支部決勝大会において、審判員の方々のご協力をいただきTOの理解度のアンケートを実施いたしました。

対象：1日目（10月2日）、2日目（10月8日）全試合
3日目（10月10日）男子交流決勝4試合 全24試合

回答方法：試合後に、その試合を担当した審判員が、同じく担当したTOチームの1試合通しての理解度をアンケートに記入。

質問事項：① 審判とコミュニケーションが取れたか。
② 苦手なところは見受けられたか。
 スコア ショットクロック タイマー アシスタント
③ 何かあればお書きください。

回答結果 「何も問題なし」「カンペキ」と回答のあったチームが半数以上でした。
1試合のTOを通して、子供たちの「理解度が上がった」「がんばっていた」という回答もありました。

その中で、「苦手そう」なところとしてあがっていた項目について補足いたしましたので、ご参考にしていただければと思います。

①審判とコミュニケーションは取れたか。
全ての試合で【Yes】の回答。

☆分からないところがあれば、積極的に聞いてください！

②苦手なところは見受けられたか。

■ スコアラー

・登録の斜線の向きが逆だった。→正しくは

・マンツーマンペナルティの場合 → HDコーチのファール欄に

■ショットクロックオペレーター

- ・24秒、14秒の〈リセット〉⇔〈継続〉のミスが多かった。
ヘルドボール後、アウトオブバウンズ後など

☆リセットをする前にボール保持チームが変わったかを確認しましょう！
不安だったら、審判からの合図を待って大丈夫です。

- ・ショットクロックを動かし始めるタイミングが早い。

☆ルーズボールやカットボールは動かしたままで、保持が変わらなければ継続。
保持が変われば24秒がスタートします。

☆ショット後リングに当たったらリセットですが、どちらかがリバウンドを取った時に14秒か24秒をスタートします。

(空中にあるボールは、どちらの保持か決まっていないからです)

☆シュートが入った後のスローインは、コート内の誰かにボールが触れた時から24秒がスタートします。

(シュートが入った時にリセットすると、そこから24秒がスタートしてしまうので気をつけてください！)

*ショットクロック操作方法

機器によって違いがありますが、ご参考までに。

24秒のリセットボタンは、押している間は何も表示されず止まっている。

→ 離すとスタートする

14秒のリセットボタンは、押している間は「14」を表示し止まっている。

→ 離すとスタートする

■ タイマー

- ・3分前、1分前のコール忘れ。

☆試合開始前、ハーフタイム明けの3分前と1分前、各クォーター間の1分前をブザーで知らせます。

・タイムアウトの申し出があった時、タイマーを止めるのを忘れてしまう。

☆急に言われるとあせってしまいますが、まずタイマーを止めましょう！
時間が止まっていれば、大丈夫です。

・スタートが遅い。

☆スローイン時は、コート内の誰かにボールが触れた時から動かし始めます。
☆機器によって使い勝手が多少違う時もあるので、タイマー表示を見て動きを確認するといいかもかもしれません。

■アシスタントスコアラー

・チーム4ファールの赤表示がおろそかになっていた。

☆チーム4ファールのコールをしなくなったので、忘れないようにしましょう！
逆に審判が気づいていなかったら、ブザーで知らせてください。

③何かあればお書きください。

・T Oの後ろに立つ人がいなかった。

☆審判、コミッショナーとなると厳しい場合もあるとは思いますが、できるだけ指導者の方のご協力をお願いいたします。

T Oは、審判と同じくゲームをスムーズに進める上でとても大切な役割です。

今回のアンケートを通じて、その事をどのチームの方々もよく理解されていて、日頃からご尽力いただいているのがよく分かりました。

ご協力ありがとうございました。引き続き、よろしくお願いいたします。